

雑穀研究会 (Millet Society of Japan) の目的と活動

大阪学院大学流通学部教授

雑穀研究会会長 竹井 恵美子

1. 目的と沿革

雑穀研究会は、雑穀に関する研究や情報の交流の場として1988年2月に設立されました。阪本寧男（初代会長・京都大学名誉教授）の呼びかけにより、分野にかかわらず雑穀への関心を共有する研究者らがつくば市に集まり、第一回の会合を開いたのがその始まりです。

同年の秋には、白山麓にある石川県白峰村において第二回の研究会が開催されました。白峰村で長年雑穀を栽培して来られた栽培者の方々をお招きし、白山麓における雑穀の利用や出作りによる焼畑経営についてその体験談を聞かせていただきました。以来、研究会は原則として雑穀が実際に栽培されている地域において開催することが定例化し、現在に至っています。

1991年には、会員の研究成果の発表、情報交換の場として、ニュースレター「雑穀研究」を創刊しました。

また、2001年からは、関東、関西の都市部において「春の勉強会」を開催しています。

雑穀研究会は、会則にその目的を「雑穀をめぐるあらゆることを研究対象として、農学、植物学、民族学、人類学、考古学、食物学、郷土史など幅広く学際的な研究交流を行うこと」と定めており、雑穀に関する多種多様な情報の交流の場をめざしています。現在の会員は約120名で、うち学生会員が10名ほど、大学などの研究機関に所属する研究者だけでなく、在野で雑穀の研究をされている方、生産や流通の現場におられる方や、食材としての雑穀に関心を持つ方などさまざまな立場の方がふくまれています。

2. 活動

現在、春と秋の年2回、定期的に研究会を開催しています。秋の研究会は、「雑穀シンポジウム」

として会員が研究発表をおこなうほか、雑穀栽培地の見学を組み込んでいることが特徴です。見学では現地の栽培者の方々から雑穀栽培や利用に関する現場の知恵を学ぶことができ、雑穀栽培地をとりまく生物環境（雑草や病原菌など）を観察したり、雑穀以外の地方農作物に出会う機会ともなっています（写真1）。



写真1 研究会（雑穀栽培地見学）

これまでの研究会開催地は表1の通りです。研究発表は、雑穀の栽培技術、栄養学、調理法、育種学、遺伝学、分類学、生理学、考古学、民俗学、ターミノロジーなど多岐にわたっています。日本各地、そしてアフリカやアジア各地での野外調査の結果報告をおこなう会員もあります。

秋の研究会は、雑穀の栽培地という性質上、どうしても山間地や離島での開催が多くなっていますが、春の勉強会は交通至便な都市部で開催しています。こちらでは、毎回、ある特定のテーマにそって2～4題の講演発表と質疑応答をおこなっています。これまでの開催地とテーマは表2の通りです。

当会のニュースレター「雑穀研究」は1991年に創刊され、年に1、2回の不定期刊行ながら、2009年3月まで24号を発刊しています。内容は会員の投稿が中心で、雑穀に関する研究論文の他、

海外調査の報告、書評、書籍紹介、研究会の報告などからなっています。最新号24号は研究論文、会員による著書の紹介、2008年度におこなわれた春と秋の研究会の報告などが掲載されています。会員外の方にもバックナンバーを実費で販売しています。

3. 今年の活動予定

2009年度は、春の勉強会を5月に京都大学で、秋のシンポジウムを9月に徳島県三好市東祖谷地区で開催の予定です。最後に春の勉強会のご案内をつけましたので、ご興味のおありの方は是非ご参加下さい。

表1 雑穀研究会の開催状況

	開催年月	開催地
第1回	1988年 2月	茨城県つくば市
2	1988年 9月	石川県白峰村
3	1989年 11月	山梨県上野原村
4	1990年 10月	奈良県大塔村
5	1991年 10月	徳島県東祖谷山村
6	1992年 11月	東京学芸大学
7	1993年 9月	岩手県軽米町外
8	1994年 9月	宮崎県椎葉村
9	1995年 9月	北海道平取町仁風谷
10	1996年 9月	長野県栄村小赤沢
11	1997年 9月	静岡市井川
12	1998年 10月	長野県上村平栗
13	1999年 6月	沖縄県竹富町竹富
14	2000年 10月	群馬県六合村
15	2001年 10月	岐阜県荘川村
16	2002年 9月	山梨県小菅村
17	2003年 8月	岩手県大迫町
18	2004年 9月	宮崎県高千穂町外
19	2005年 9月	山梨県早川町雨畑
20	2006年 9月	長野県栄村
21	2007年 8月	岩手県軽米町外
22	2008年 9月	奈良県五條市大塔町
23	2009年 9月	徳島県三好市東祖谷

(注) 開催地名は当時

--- 雑穀研究会「2009年春の勉強会」のご案内 ---

- (1) テーマ：ムギ農耕から生まれた作物と雑草
- (2) 日時：2009年5月16日（土）13：30～17：00
- (3) 場所：京都大学北部構内農学生命科学研究棟1Fセミナー室
- (4) 受付 13：30
- (5) 講演 14：00～
- (6) 演題
 - ア. えん麦の来た道～栽培種の進化と起源
森川 利信（大阪府立大学生命環境科学研究科）
 - イ. ムギ栽培とドクムギの擬態随伴
富永 達（京都大学農学研究科）
- (7) 参加費：一般1000円、学生200円
- (8) お問い合わせ：京都大学農学研究科
富永達 tominaga@kais.kyoto-u.ac.jp

表2 春の勉強会の開催状況

	開催年月	開催地	テーマ
第1回	2001年4月	龍谷大学 (滋賀県大津市)	・アフリカの雑穀をめぐって
2	2002年4月	東京学芸大学 (東京都小金井市)	・ラオスの農業と農民の暮らし
3	2003年5月	日大生物資源科学部 (神奈川県藤沢市)	・アンデス高地の雑穀キノア
4	2004年6月	大阪学院大学 (大阪府吹田市)	・歴史学分野からの雑穀研究
5	2005年5月	日大生物資源科学部 (神奈川県藤沢市)	・考古民族植物学と雑穀
6	2006年6月	日大生物資源科学部 (神奈川県藤沢市)	・ブルキナファソとブータンの雑穀
7	2007年5月	大阪学院短期大学 (大阪府吹田市)	・台湾の雑穀
8	2008年5月	東京学芸大学 (東京都小金井市)	・考古学における雑穀研究の現状

(参考) 雑穀研究会入会のご案内

- ・ 申込先：〒604-0934 京都市中京区麩屋町二条下る第二ふや町ビル605号
農耕文化研究振興会気付 雑穀研究会
- ・ e-mail:nobunken@d1.dion.ne.jp tel/fax:075-255-6550（月、水、金在室）